

# 一般質問

9月定例会では、15人の議員が一般質問を行いました。各議員の質問と理事者の答弁の概要は次のとおりです。(質問順に掲載)

## 全議員で高浜原発を視察

8月5日、議員全員で関西電力高浜原子力発電所を視察しました。これは、府がEPRZを暫定的に20歳に上げたことを踏まえ、議会として原発の現状を把握するため行ったものです。当日は、発電所の長谷

## 関電との主な質疑

**問** 市民は不安や戸惑いを感じている。事業者としての責任は。  
**答** 事故は絶対起こさない。安全対策として500〜700億円を費やした。今後も情報をオープンにして対策の強化に努める。  
**問** 今回想定外のことが起こった。緊急対策の現状をみて不安を感じたが。  
**答** あくまでも緊急対策であり現時点での対応である。今後、恒常的な設備投資を行っていく。  
**問** 事故が起こった場合の報告の仕組みは。  
**答** 関係機関にはまず電話で一報し、「事故対策センター」に入ってもらい情報を共有する。現在、南丹市とは協定がないが今後の協議となる。  
**問** ストレステストはだれが行うのか。  
**答** 当社が行い経産省に報告する。内容は震度、震源、津波の高さ、強度などをコンピュータで算出するもの。



活発な質疑が行われた



高浜原子力発電所

**問** 関電としてモニタリングポストの増設の考えは。  
**答** 前向きに考えている。新聞に折り込まれた安全対策の報告書は分かりづらい。  
**問** 安全性をまとめたものであるが、専門的過ぎたかもしれない。折り込みは行政と協議して行った。

## 陳情書の受理

◎地球防衛宣言及び戦争のない世界実現の為の陳情書  
横浜市 荒木 實  
理事長 関 浩

## 要望書の受理

◎拡大生産者責任(EPR)及びデポジット制度法制化を求める意見書の採択について(お願い)  
福岡県筑後市長 中村 征一  
ほか3名

◎原子力発電に依存したエネルギー政策の見直しを求める意見書採択を求める陳情書  
京都府保険医協会  
理事長 関 浩

理事 関 浩

## 小中 ペレットストーブ等購入に補助金を重要な施策と認識、対応を検討

市長

**問** 福島原発の事故を受けて原子力に代わる水力、火力、風力、地熱やバイオマスエネルギーなど自然エネルギーが注目されており、それらの今後の有効な活用が必要である。  
ペレットやチップ、薪などを燃やしたときに出る

二酸化炭素は、その木材が成長過程で吸収したものであり、大気中の二酸化炭素の増減に影響を与えない。また、ペレットなどは森林の副産物を原料としているため、木質資源の循環利用に貢献することが期待でき

5月に環境基本計画が策定され、ペレットや薪のストーブ、チップボイラーの普及に努めるとある。  
問伐材など豊富な森林資源の有効活用を図るために、ペレットや薪のストーブ、チップボイラーの購入に助成制度の導入を。



南風クラブ 小中 昭 議員

**市長** 助成制度は重要な要素であると認識している。国のエネルギー政策の動向も踏まえる中で対応を検討していく。

**デマンドバス運行の見直しを**  
**問** 日吉、美山の試行運行は5カ月が経過したが利用

## 高野 お年寄りの思いに沿ったバス運行を利用者のニーズを踏まえ対応する

市長

**問** デマンドバスの日吉、美山での試行運行が始まり5カ月が経過したが、利用率が低い。運行形態に問題があると考える。より利用しやすくするために提起する。

商店街まで乗れるように、運行エリアを広げる。  
②家から行きたいところまで、行った先から家までというドア・ツー・ドアにする。  
③予約センターは少なくとも旧町ごとに設置する。  
以上、デマンドバスを高

年齢者など交通弱者の移動手段として本市に定着させるための最低限の措置だと考えるが。  
**市長** 現在試行運行中だが、よりよきものをつくっていくことが大事だと思っている。今後とも乗っていただきやすいように条件整



日本共産党市会議員団 高野 美好 議員

**合併しても財政は好転せず**  
**問** 22年度会計決算認定議案が上程された。毎年必ず必要な経費の割合(経常収支比率)は89%。市独自でまかなえる収入(財政力指

備をしたい。  
数)は36%と極めて厳しい状況で、合併後10年間特別に認められている合併特別債もほとんど活用できない状況。財政は好転する気配がないが、今後の見通しは。

①診療所(病院)、市役所(支所)、農協、郵便局、

現在試行運行中だが、よりよきものをつくっていくことが大事だと思っている。今後とも乗っていただきやすいように条件整